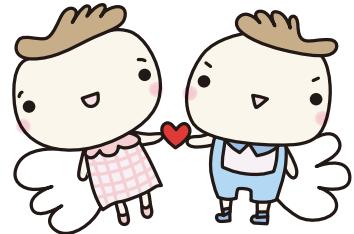


てとく
tetate



写真：仲間と一緒につくる夕涼み会（天満）
詳しくはP8 地域の宝物再発見へ

特集 農業を通して社会参加ができる地域をめざす

連載 『地域の宝物再発見！』

特集

農業を通して社会参加ができる地域をめざす ～助け合い、参加し、活躍できる社会に～



障がいのある人もない人も、女性も男性も、高齢者も若い人も、すべての人が共に生きる社会の実現に向けて地域づくりが求められています。

実現のためには「つながり」が欠かせない要素のひとつになってしまいます。

けれども、特に障がいのある方は、地域とのつながりが少ないのが現状となっています。

そんな中、今回農業を通して社会参加の取り組みを行つてきましたので、ご紹ひします。

認定特定非営利活動法人つどい庵

農業に取り組まれたきっかけは何でしたか？

高齢に伴う畠の扱い手不足や、耕作放棄が多く、除草剤がまかれた畠、黒マルチが敷かれていた光景を見るのは寂しいと感じていました。

そんな時、知り合いの農家さんから休耕田の管理が大変とい

うことを伺つたことがきっかけでお手伝いをはじめました。

実際に、どのような取り組みをされていますか？

障がいのある方、デイサービスの利用者、放課後児童クラブの児童と一緒に草刈りや蓮の花の摘み取り加工を行つています。ではなく、一つの畠で多世代が交流している姿を見て、こういった取り組みをしています。

どういった効果がありましたか？

普段、障がいのある方は、土に触れる機会がないため貴重な経験だと思います。仕事として、一から農作物を育て、自らの手で収穫し、加工・納品まで行うことで、自分たちが作った物が売れる喜びに繋がると思います。また、農家さん、地域の方と一緒に作業をすることで、地域の方との交流ができていると実感しています。



今後の展望についてお聞かせください

今後も事業を継続していく、地域の方を巻き込んで、多世代が交流できる場を提供していくたいと考えています。

近隣の農家

つどい庵と一緒にするきっかけは何でしたか？

周りで減反や耕作放棄が増え、農業の担い手が減つていって、寂しく感じていました。数年、一人で田の維持管理をしていたが正直大変でした。その時に事業所に声をかけてもらい田を蓮畑に変えて一緒にすることになりました。

今後の展望についてお聞かせください

どういった効果がありましたか？

加工された蓮の花は、道の駅等に卸していると聞いています。自分が育てた蓮の花が障がいのある方の仕事になっていることは嬉しく感じます。農業を楽しむと思ってもらえるよう、最初は簡単な草取りから始めてもらつて、遊びのような感覚で農業に関わつてもらっています。

実際に、どのような取り組みをされていますか？

朝4時頃から、私が花の摘み取りをして、摘み取った花の加工は事業所に任せています。また、午前中の涼しいうちに、障がいのある方と一緒に草刈り等をしています。

認定特定非営利活動法人 つどい

『ものごとに柔軟に対応できる法人』として日々様々なことに挑戦しておられます。

【お問い合わせ】
〒526-0823
長浜市常喜町874番地2
0749-57-6777

農業に取り組まれたきっかけは何でしたか？

農業というのは、難しいようでは別に失敗しても大丈夫、やり直しがきます。また、年間を通して、その人に合わせた仕事を生み出せるので当初から農業をしていました。

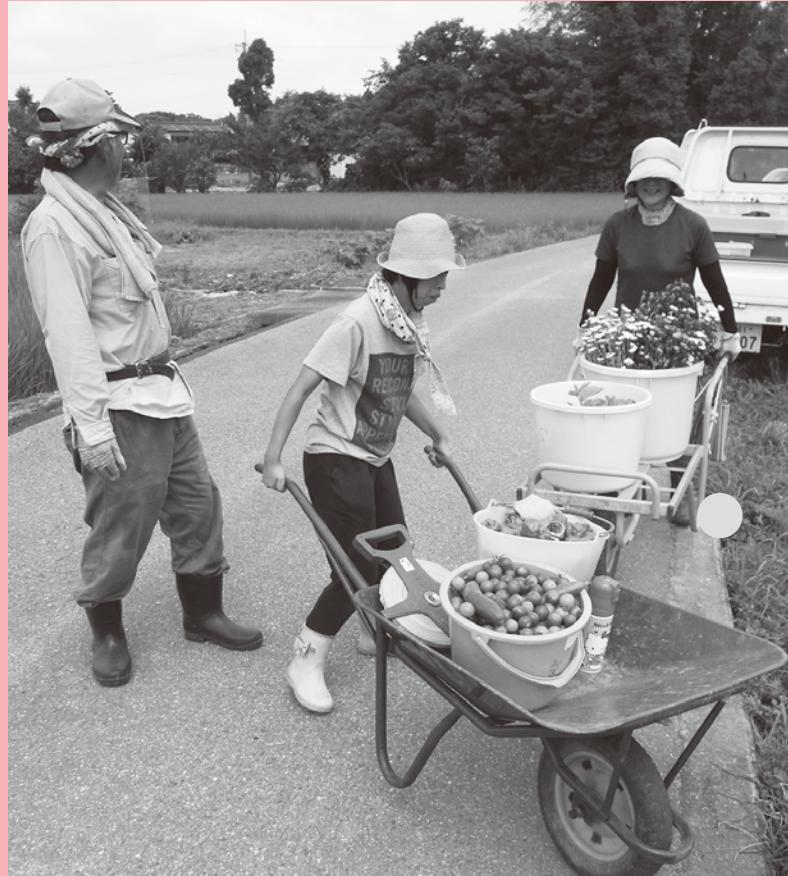
実際には、どのような取り組みをされていますか？

耕作放棄地などを借りて野菜、小菊、葉牡丹の栽培、出荷をしています。愛光園では大量出荷はできませんが、他の農家さんだけでは足りない部分を埋めるように出荷させてもらっています。少量でも応じることで声をかけてもらえますし、無理なくやつていけています。

またボランティアで長浜市役所に愛光園で種から育てたお花のプランターを納め、管理もさせてもらっています。利用者の方も社会貢献に携わっています。利用者にもそういう説明をしています。

愛光園からできるだけ外へ出て、できることはして地域の方と触れ合うようにしています。地域の氏神さんに詣でたり、除雪や台風の時には、手伝いに行つたり。そうすると地域の人から愛光園のこと、愛光園以外のことでも言いにきてくださいようになりました。





今後の展望についてお聞かせください

**特定非営利活動法人
愛光園**
地域との交流により、障がい者理解を深め、地域社会の中で障がい者が受け入れられる環境づくりの活動を展開されています。
【お問い合わせ】
〒526-0803
長浜市西上坂町553番地
0749-64-1285

おわりに
平成三十一年四月より「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行されました。

で、ぜひ経験してほしいと思います。

「共生社会」とは、社会にあるバリアと考えられています。すべての人が助け合い、共に生きる社会（共生社会）をつくることで、人々の生活や意識の中に「障がい者」という考え方がなくなり、社会にあるバリアを取り除くことができるのでないでしょうか。

誰もが共に認め合い、それぞれの能力を発揮して安心して暮らすことができる社会が実現できるよう、今後さらに、取り組みの発展が期待されます。

「共生社会」とはさまざまな人々が、すべて分け隔てなく暮らしていくことができる社会のことであり、障がいのある人もない人も、支える人、支えられる人に分かれることなく、共に支え合い、暮らしている社会です。

今回、お話を伺った二つの事業所では、障がいのある方が農業を通じて地域とつながり、地域の方も自然と受け入れる、そんな取り組みを実践しておられます。

米原地域 西坂自治会の宝物

～「できる人ができることを」の雰囲気で
“現状維持”する気持ち～



お話を聞いた3人

そのよろんな心
が月に一回宮
タンボボの会と
一回公民館のそ
防団には若い世
代が入つておら
れたり、文化祭
では若い世代が
裏方の仕事を
担つて いたり
土手の草が生え
てきたり、自分
の家以外の場所
も草刈りをつい



全住民参加の文化祭

課題もたくさんありますが、住民一人ひとりが自分のできることをして自治会活動に参加されていることで、地域の一員という意識が育まれているのではないかでしょうか。最近、一度自治会を出た世帯が戻つてこられたという話をされていました。自分の生まれ育つた場所に戻りたいと思えるのもこういった西坂の雰囲気が昔からあります。それを“現状維持”大切に守つていなく”というみなさんの思いがあるからこそだと感じました。

ることが多く、「世代ごとに集まる場があり、同年代の話し相手がいる」こと

でに行つて
いたり…
聞くと住民
の方々が地
域のために
されている
ことがたく
さん出てき
ます。また
このような
活動は同世
代の方が集
まつてされ



同世代の集まり

近江地域 宇賀野自治会の宝物

～伝統行事がつなぐ、地域の絆～



今回お話を聞いたみなさん



神楽歌に合わせて舞を披露する巫女

月に三回行われている『宇賀野みん
なのカフェ』へお邪魔して、参加者の
方から宇賀野の宝物についてお話を伺
いました。

自治会長の北村さんは「宇賀野の主
な行事は、春祭り、年二回の大川清掃
宇賀野の日で、どの行事にもたくさん
の人に参加していただいている。」と
話されました。

その中で、参加者の皆さんがあつたく
挙げてくださったのは、坂田神明宮の
春祭りでした。

春祭りでは子どもから大人までたく
さんの方が参加され、それぞれに役割
があります。

神撰物をお供えするときに奉仕する
御前据えは小学校四年生の男の子、巫女として神楽歌に合わせて舞を奉納する六年生の女の子、雅楽を奏でる紫雲社の方々、渡御の先導蹴り奴を行つ厄年を中心とした有志の方々、御鳳輦を担ぐ方々、それ以外にも祭りの準備などで還暦の方や奴保存会の方、宮世話の方など多くの女性・男性が集まります

意識も高く、とてもいい関係ができていた。「宇賀野は田舎やけど便利なところ。いたるとこから、きれいな水が湧き出て、とても環境がいい。」と自治会長の北村さん。『環境』という言葉には便利さとあわせて、地域の人々のとてもいい関係も含めた環境であるとのメッセージを強く感じました。



御鳳輦を担ぐ方々



御前据えの様子



蹴り奴の有志の方々



夕涼み会の様子

山東地域 天満自治会の宝物

～仲間に出会えて良かった～

「久しぶりやなあ～元気にしてた?」「最近、こんなことがあってな…」いたるところで話に花が咲きます。子どもから高齢者までみんなが集う場、夕涼み会。五十名程の住民さんが集まつておられる中、天満の宝物を教えてください!と取材に伺いました。

夕涼み会は今年度で二回目。全区民のみなさんが楽しく交流し、絆を深める場として福祉協力員を中心にお企画されています。子ども向けのゲームコーナーや豊富な種類の飲食メニューがあり、赤十字奉仕団や自治会の協力を得て実施されています。そこでは、子どもたちがゲームしている

仲良くおしゃべり



一緒に楽しいひと時を過ごすお友達と一緒に楽しいひと時を過ごされています。代家族、近所笑顔で会話をされている3世代

れる人々…みなさん思い思いの時間を過ごされていました。

そんなみなさんが口を揃えて言われる言葉、それは、"仲間・つながり・団結力"が宝物。

「この仲間たちに出会えたことが一番良かったこと」「何かする時は団結してみんなが協力し合うことができる」と話されます。「たくさん仲間がいるからこそ、いろんなつながりが生まれる。そのつながりが重なっていくことで、団結力が高まる。この宝物があるからこそ、夕涼み会を実施することができた」と福祉協力員の林さん。

仲間たちに出会える場、その場を作り出す“人”が天満の宝物であるとのお話やみんなの温かい笑顔で取材した私もとても温かい気持ちになりました。



伊吹地域 杉沢自治会の宝物

～平成元年の杉沢アラカルタをしながら
令和元年の宝物探し～

令和の時代になり数か月、杉沢アラカルタなるものを発見しました。それは、平成元年、今から三十年前に杉沢自治会の温故創新クラブがつくられたものです。これがまたおもしろく、いわゆる『杉沢あるある』が書かれたカルタです。今回は、このカルタをつくりたった当時を知る方も杉沢の地域福祉懇談会に来られるので、当時を振り返りながら杉沢の宝物について聞いてみることにしました。

「る」＝「るす番に犬しか残らぬ運動会」。「当時は、たくさんの人たち

が※十輪ピックや運動会などの行事で顔を合わせ、世代を超えたつながりをつくってきた、このつながりは今でも大切にしている」と自治会長の要石さん。少子高齢化が進む中、行事に参加



杉沢アラカルタ。
売り物のように大変しっかりしたカルタです。



杉沢アラカルタをしながら思い出を語る皆様
札を取ったあとしばらく見つめている人も。

「む」＝「昔から子どもが仕切る地蔵盆」。杉沢の地蔵盆は、子どもたちが行灯づくりやお掃除等、役割を持つて必ず参加していました。しかし子どもが少なくなってきて、同じスタイルでの実践が難しい中、形を変えて続けていきたいと話されています。サロンの行事と一緒にすることでの、継続していくことなど前向きな意見も出されています。

ました。

今回、世代を超えて交流を持たれていたアラカルタ世代の方々の話を聞いて、杉沢の宝物と言える大切にしていることは「時代がかわっても世代を超えてつなげていくこと」と感じました。

「れ」＝「令和への世代につなげるまちづくり」でしめさせていただき

ます。

※十輪ピック（じゅうりんぴっく）
年間に十種目のスポーツ（スキー・ボウリング・テニスなど）で個人成績を楽しく競い合い、総合表彰した取り組み。ソウル五輪（1998年）の年にスタートしたことから五輪をもじつて十輪ピックとした。



今回、話を聞いた皆様 手前のDVDは、
温故創新クラブの歩みをまとめたものです

平成30年度 事業報告

平成30年度から5年間を推進期間とする「事業推進方針」に基づき「地域共生社会」の実現を目指しました。

地域間や他分野がつながり協働する活動、市民による協議体や広域組織の必要性について意識醸成を図ったほか、生活上の充足されないニーズや制度の狭間にあるニーズに対し、相談機能の強化や、障がい児者の地域生活支援に向けた新たな事業を開始しました。

また、人事制度の見直しの一環として、職務能力の評価基準の作成や働き方改革への対応、短時間労働制度等の整備など、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できる魅力ある職場づくりに取り組みました。

1 第2次まいばら福祉のまちづくり計画の策定

第2次まいばら福祉のまちづくり計画は、行政と地域住民や社会福祉協議会をはじめとした民間の各種団体・機関が連携を強化し、地域福祉に関わる様々な支援や基盤づくりを同じ方向性でより効果的に推進するため「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」を一体的に策定しました。

2 地域をつなぐ活動

身近な地域の福祉拠点として相談機能を強化するほか、地域や主体、活動分野、機関等の枠組みを超えたつながりづくりを目的とした様々な協議・検討の場を作る中で、市内社会福祉法人が協働して地域の課題に対する「公益的な取り組み」が展開されるよう、情報意見交換会を開催し、7法人が意見を交わしました。

- ・相談支援窓口 相談件数2,233件
- ・相談支援包括化推進事業
- ・広報誌「てとて」発行4回
- ・フェイスブック/ブログによる情報発信71件
- ・善意銀行 金銭預託27件 物品預託122件
- ・共同募金委員会の運営 等

3 地域の福祉力を高める活動

地域住民による支え合いの取り組みを支援するため、自治会活動の支援や、ボランティア活動の推進をはじめ、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めました。

- ・地域支え合いセンター まいばらまるごと交流会 2回延べ85人
スゴワザ講座 5回延べ70人
- ・地域福祉懇談会 70自治会延べ75回
- ・見守り活動ネットワーク会議 57自治会 延べ321回
- ・ご近助活動スキルアップ講座参加者 延べ148人 等



まいばらまるごと交流会

4 暮らしを支える活動

市民が抱える生活上の課題・ニーズに応えるため、一人ひとりの暮らしをサポートする権利擁護事業や介護保険事業、障害福祉サービスを提供し、新たに、障がい児者の地域生活支援に向けた、自立生活援助事業や日中一時支援事業を開始しました。

- ・権利擁護センター
- ・介護保険事業
- ・障がい福祉サービス
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・子ども食堂活動支援
- ・放課後児童クラブ
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・地域生活応援事業（プロジェクト事業）



子育てサークル支援

5 災害に強いまちづくり活動

スキルアップ講座の開催や福祉懇談会、見守りネットワーク会議、支援体制構築会議への出席を通じて、支援体制づくりの必要性やその進め方について、進捗状況に応じた情報提供や提案を行うことで、災害時支援の連携構築の推進を図りました。また、6月29日に米原市竜巻災害における災害ボランティアーズ把握活動を行いました。



要支援者を交えた避難訓練

6 推進体制の充実・強化

人材育成のためのプログラムの充実や適正な評価に基づく処遇の実施など、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できる魅力ある職場づくりのため、新たに職務能力の評価基準となる職能基準を定めたほか、法人内の各部門（部署）を横断するプロジェクトチームによる新規事業等の検討と実践を行いました。

また、事業収益の1%を活用して地域貢献活動に取り組み、高齢者筋力向上トレーニング事業や地域生活支援事業を行いました。

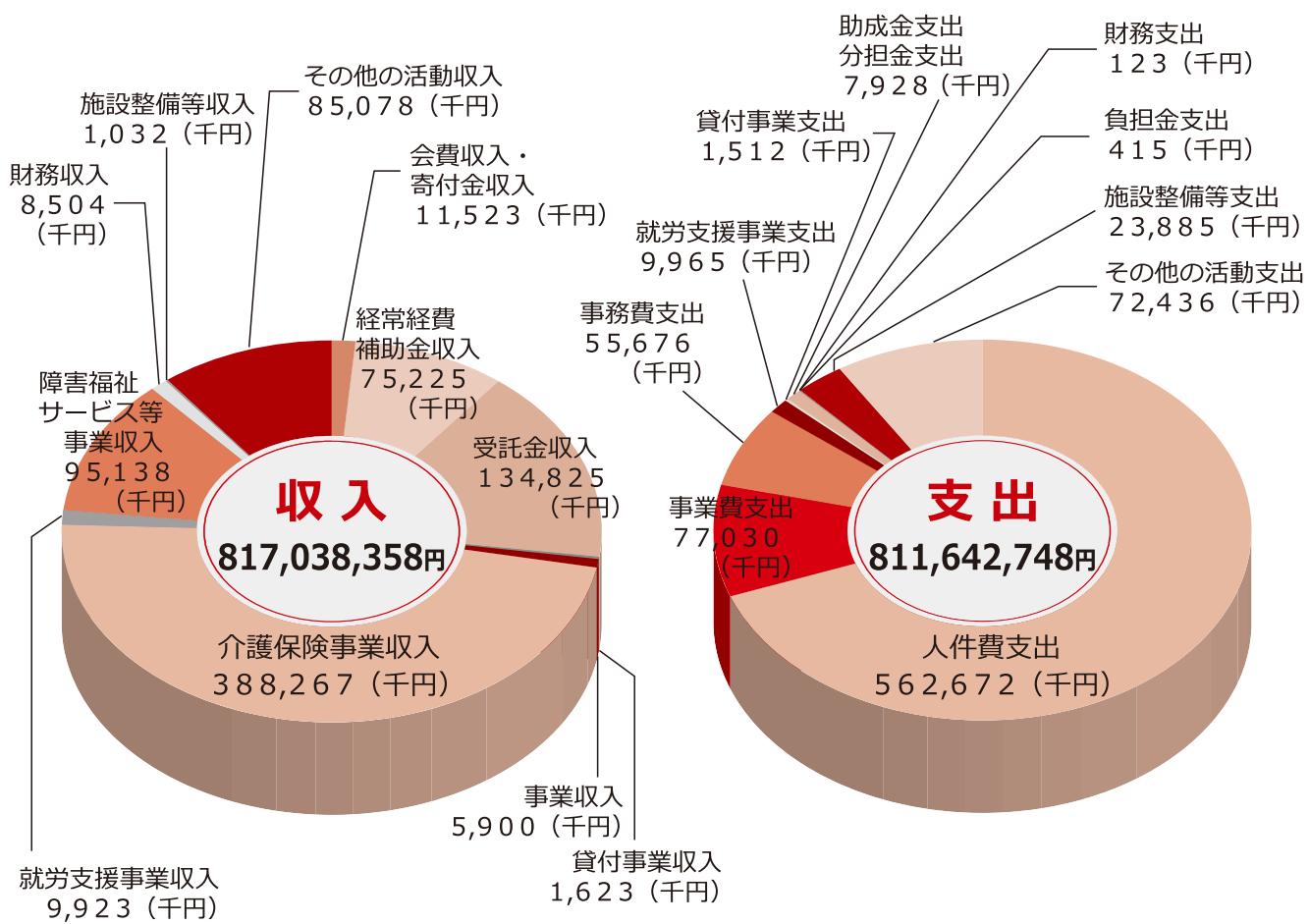
- 理事会、評議員会の開催
- 会費啓発チラシの作成
- 情報公開と監査機能の充実
- 等



QC活動の報告会

平成
30
年度

社会福祉法人米原市社会福祉協議会決算報告



※ホームページに財務諸表、事業報告書を掲載しておりますので、併せてご覧ください。



共同募金運動が始まります！

運動期間 10月1日～12月31日

みなさまのご協力をよろしくお願ひいたします。



令和元年度 赤い羽根共同募金計画 目標額 7,200,000円

- 企業・商店
610,000円
- イベント募金
135,000円
- 駅・店舗前募金
商店等カウンター募金
150,000円

- 戸別（世帯）
5,400,000円

いろんなところに
お願いしています

- 個人募金
180,000円

- 学校・幼稚園
350,000円
- 職場の個人募金
280,000円
- 寄付つき自販機
95,000円

寄せられた募金が米原市の地域福祉を支えています。



子育て支援事業
『こもち～ズ広場』



手話サークル活動



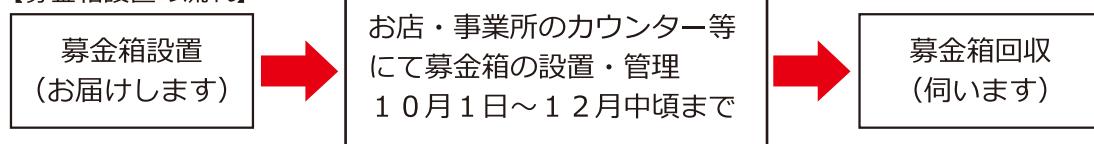
サロン異世代交流

※上記の写真は共同募金の助成を受け活動されている内容の一部を紹介しています。

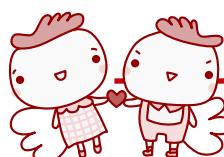
募金箱を設置いただけるお店、事業所を募集しています。

市内の商店、コンビニエンスストア、道の駅の売店等（約40店舗）に、募金箱を設置させていただいている。

【募金箱設置の流れ】



※詳細については、米原市社会福祉協議会 総務課まで TEL 54-3105



地域のみなさま、ご協力ありがとうございました。

米原市社会福祉協議会



日本赤十字社

普通会費 7,644,000円

活動資金 5,263,306円

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人々を救うために行う幅広い支援活動に役立てられます。

(令和元年7月31日現在)

相談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月から土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時から12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります。）

〈問合せ〉米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会場	相談日	会場
9月10日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	10月 8日(火)	げんきステーション（下多良3丁目3）
9月24日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	10月23日(水)	愛らんど（春照56）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会場	相談日	会場
9月26日(木)	愛らんど（春照56）	10月24日(木)	やすらぎハウス（顔戸21-2）

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時から12時までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110



法律・福祉・高齢・障がいなど

＼なんでも相談会 in 米原／開催のご案内

みなさんが抱えている心配ごと、悩み、不安などについて弁護士・税理士・司法書士・社会福祉士・行政職員・社協職員他が相談をお受けします。

例えば、こんなご相談・・・

- ・年老いた親の世話が大変で、仕事にも支障が出始めて困っている。何か良い方法はないか？
- ・50代の無職の息子と2人暮らし。私にもしものことがあると息子はどうなるのか心配。
- ・障がいのある娘。親亡き後、1人で生活していくために、利用できる制度を知っておきたい。

○日時：令和元年9月23日（月・祝）13:30～16:30

（相談受付時間13:15～16:00）

○場所：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570）

○対象：米原市在住の方

○お問合せ先：米原市権利擁護センター

（米原市社会福祉協議会 地域福祉課）

電話 54-3205

善意銀行だより

令和元年5月16日～令和元年7月31日
(敬称略)

〔金銭預託〕

扶桑工業株式会社 200,000円

〔物品預託〕

おおはら農園どろんこばたけ じゃが芋・玉ねぎ・にんにく

匿名 CD・ビデオデッキ

飯ファーム たまねぎ

宮川忠雄 洗濯機

真野 修 おはぎ

ひまわりボランティアグループ 村木スゴロク

米原の大地の恵み じゃが芋

※他季節のお野菜や果物をたくさんいただき、ありがとうございました。

・市内福祉事業所にもお渡ししております。



扶桑工業株式会社

予約不要
相談無料



こんにちは、米原市ボランティアセンターです！
市内で活動されるボランティアさんの声やボラン
ティアに関する情報を皆さんにお届けしていきます!!

米原市のボランティア情報

まいボラ

ボランティアさん ただいま活動中！

皆さん、「芸能ボランティア」をご存じですか？

芸能ボランティアとは、自分の趣味や特技として取り組んでいる、踊りや音楽、読み聞かせや創作活動などを、地域のサロンやイベント、福祉施設等といった場で、発表して参加者の方に見て楽しんでいただけたり、一緒に歌ったり、創作したり・・・といった活動をいいます。前回に引き続き、2つの芸能ボランティアさんを紹介します！



「うぐいす会」

私たちうぐいす会は平成16年に詩吟サークルにテレビ取材が入った際チョッピリいい格好をして「今後ボランティア活動を通じて」と言ったのが始まりです。現在、歌、歌謡舞踊、お笑い寸劇、講談、浪曲等を楽しんでいただけております。これまで活動を続けてこられたのは、何と言っても好きということと、見てくれた人に楽しんでもらいたいという気持ちからかなと思います。「自分自身が楽しくなければ、

見ていただく人が楽しいわけがない」「たとえ下手でも一生懸命にやれば必ず心は通じる」と思って頑張っています。



「ベルフラワー」

ハンドベルのベルフラワーといいます。4年ほど前に、ハンドベルの体験教室がありハンドベルの音色に魅了されて、音楽の好きなメンバーが集まり月1回の練習ですが楽しんで活動しています。デイサービスや学童クラブに呼んでいただき披露させていただけます。まだまだ練習不足ですが、地域の皆さんに素敵なベルの音色をお届けできるよう活動を続けていきたいと思います。メンバーの随時募集も



しています。興味のあるかたは、見学していただき一緒に楽しみましょう。



☆ボランティアの依頼、または自分の趣味を活かしてボランティアをしてみたい！という方は、ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください！（電話55-3933）

広げよう！環境と福祉のコラボレーション事業 “hana-wa（ハナワ）” プロジェクト

園芸栽培キットを寄贈いただきました！

この度、淡海フィランソロピーネットより、“hana-wa（ハナワ）”プロジェクトを通じて製造された園芸栽培キットを400セット寄贈いただき、本会を通じて市内の小中学校、認定こども園等に配布いたしました。7月19日には、淡海フィランソロピーネット役員、ペットボトルキャップリサイクル作業所連絡会の方々に参加いただき、協力団体を代表して米原市立河南中学校にて贈呈式が開催されました。

私たちが集めたキャップが多くの方のためになつてることを知って嬉しいです。これからも頑張っていきます！



「hana-wa（ハナワ）」プロジェクトとは…

○ペットボトルキャップのリサイクル事業

地域の皆さんのが集められたペットボトルキャップをプランターに再利用

○障がいのある方の就労支援事業

ペットボトルキャップの回収、キャップの分別、植栽リース事業（プロジェクトを通じて製造されたプランターに季節に応じた花を植えて契約企業にお届け）

この二つの事業をコラボさせたプロジェクトです！

ペットボトルキャップ回収、植栽リースを通して、プロジェクトに参加しませんか？

集められたペットボトルキャップは社協各センターへ、植栽リースを希望の方はボランティアセンターへお問い合わせください！

relief ~リリーフ~ 不登校ママお茶会

学校に行けない、行きたくない、学校に行くけど教室に入れない。そんな子どものことをどこに相談すればいいのかわからない、誰に話せばいいのかわからず、ひとりで抱えこんでおられませんか？

そんな同じ悩みを持つ保護者が一緒に話し合える場を立ち上げました。

『relief』とは負担を軽減する、和らげるなどを意味する言葉です。

みんなでゆっくりお茶を飲みながら喋って、つながって気持ちが軽くなる、ホッとできるそんな場所になればと思います。

日 時：毎月第3水曜日 10時～14時
※いつ来て、いつ帰ってもOKです

場 所：近江地域福祉センター やすらぎハウス（顔戸21-2）

参加費：300円

申 込：参加したい方は事前にお問い合わせください

問合せ：relief 担当：山田 Mail feel.relieved.p.m@gmail.com

米原市社会福祉協議会 担当：伏谷 TEL 0749-52-1463

企 画：relief・米原市社会福祉協議会



オレンジ サークル



米原市キャラバンメイトでは、認知症になっても誰もが地域で安心して暮らしていくように、地域の方々へ認知症についての理解を広める活動を行っています。

その活動のひとつにオレンジサークルがあり、毎月1回誰もが参加できるカフェを開催しています。

認知症について知りたい、聞きたい方ぜひご参加ください。お待ちしています。

*日 時：毎月第3金曜日 ※9月は20日、10月は18日です♪
*時 間：11時から13時まで（いつ来ても、いつ帰ってもOK）
*場 所：【奇数月】近江地域福祉センターやすらぎハウス（顔戸21-2）
【偶数月】山東地域福祉活動センター（志賀谷1907）
*参加費：100円

市内のどなたでも参加OK！
市内の専門職（介護・医療）
も参加しています



*お問い合わせ先：米原市社協 ボランティアセンター TEL/FAX 55-3933まで



子育てサークル紹介

今年度も、米原市で活動されている子育てサークルを紹介していきます♪

ー 今月は「によっkids」さんですー

私達によっkidsは米原市在住の就園児の親子を対象に毎月第3金曜日の午後にきらめきステーションで活動しています。

おもちゃで遊んだり、一緒におやつを食べたり、夏にはおでかけしたり、季節のイベントを取り入れて親子で交流を深めています。



なかよしこよし



右 山本 環ちゃん 2歳9ヶ月
左 丸本 淳士くん 1歳7ヶ月

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibara@maibara-shakyo.or.jp

山東地域福祉活動センター

米原市志賀谷1907番地 旧山東生涯学習センター内
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibara@maibara-shakyo.or.jp

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介

大きくな～れ

今月のおすすめ情報

SL北びわこ号に乗車はいかが?

1995年から走り始めたSL北びわこ号。その雄姿を目にした方も多いことと思いますが、この秋、実際に乗ってみてはいかがでしょうか?

運転日 9月8日・15日・22日(全て日曜日)
米原駅発10時9分→木ノ本駅着10時52分
(途中長浜、虎姫、河毛、高月に停まります。)

★普通乗車券のほかに指定席券520円
(子ども260円)が必要です。

今回北びわこ号を引く機関車は愛称で『貴婦人』と呼ばれるC57形。子どもたちにとってステキな思い出になると思いますよ。



※北びわこ号は10月13日・20日・27日と11月3日・10日にも運行予定です。(変更の場合あり)

今月のイベント情報

米原市ファミリー・サポート・センター センター養成講座 開催のお知らせ

子育てについて、専門家からお話を聞いて学んでみませんか?

日時: 令和元年10月12日(土)

時間: 10時~15時まで

場所: 米原地域福祉センター ゆめホール 2階研修室

内容: 子どもの身体の発育と病気・活動中の安全と事故・
子どもと楽しめる遊びについて、小児科の先生・
保健師さん・保育士さんからお話いただきます。

対象: 市内在住の子どもが好きな19歳以上の方

申込み・問合せ先: 米原市社協 山東地域福祉活動センター
ファミリー・サポート・センター

電話: 55-3933まで
お電話ください♪

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
TEL 52-1463 FAX 52-8051
TEL 52-4393 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

文字が読みにくい等でお困りの方に毎号、「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽に問い合わせください。
(「音の広報」は米原市内の音詠ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。)

